



- 東京メトロ有楽町線 新富町駅から徒歩約4分。(5番出口)
- 東京メトロ日比谷線 八丁堀駅から徒歩約7分。
JR有楽町線 八丁堀駅から徒歩約9分。(A3出口)
- 東京メトロ日比谷線 築地駅から徒歩約7分。(4番出口)
- 東京駅からJR山手線・外回り有楽町駅下車。
東京メトロ有楽町線乗り換え。

一般財団法人 印刷図書館



一般財団法人印刷図書館は、昭和22年(1947年)に印刷技術の進歩発展を通して印刷文化に貢献することを目的に設立されました。以来今日まで、印刷産業ならびに関連産業にご協力いただき、印刷に関するさまざまな分野の資料収集に努めてきました。また、今後の印刷分野発展の方向性を指し示す各種資料も豊富に収集しています。

〈利用案内〉

開館時間 AM9:00～PM5:00(正午からPM1時は閉館)
休館日 土・日・祝日、年末年始、夏期、臨時休館(ホームページでご確認ください)
利用料金 ・維持会員および個人会員は無料
 ・一般は600円 ・学生は200円
 ・複写サービス有り(有料)
貸出 維持会員および個人会員のみ可(3冊/2週間)
住所 〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8
 日本印刷会館3F
電話 03-3551-0506
FAX 03-3551-0509
<http://www.print-lib.or.jp>

株式会社 日本印刷会館



日本印刷会館は、印刷産業の情報発信センターとして機能するとともに、セミナー・教育訓練の場として業界の人材育成に貢献しています。

〈会議室のご案内〉

ご利用時間 AM9:00～PM9:00 土・日・祝日の貸し出しも行います。2階の会議室は、大人数のセミナー会場としてもご利用いただけます
お申し込み方法 当会館のホームページで予約状況を確認の後、印刷会館事務所にお電話ください
設備 プロジェクター(2台)、大型スクリーン(80インチ・100インチ・120インチ)、放送設備、PC、インターネット回線、演台、マイク、ホワイトボードなど各種備品
住所 〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8
電話 03-3551-5011
FAX 03-3551-3010
<http://www.jfpi.or.jp/kaikan>



一般社団法人 日本印刷産業連合会
 Japan Federation of Printing Industries
 〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館内
 TEL 03-3553-6051 FAX 03-3553-6079
<http://www.jfpi.or.jp/>



GREEN PRINTING JFPI
 P-Z10001
 この印刷製品は、環境に配慮した
 素材と工場で製造されています。

一般社団法人 日本印刷産業連合会のご案内

Japan
Federation of
Printing
Industries



日本印刷産業連合会のご紹介

名 称：一般社団法人 日本印刷産業連合会
英文名：JAPAN FEDERATION OF PRINTING INDUSTRIES
略 称：日印産連（JFPI）
設 立：1985 年 6 月 3 日

一般社団法人日本印刷産業連合会は、1985 年に印刷産業 10 団体が結集し、印刷産業の一層の発展と生活文化の向上に寄与することを目的に設立されました。

2015 年に設立 30 周年を迎えましたが、設立時と経営環境も大きく変わってきていることを踏まえて、新たな事業計画ともいべきグランドデザインを発表しました。グランドデザインの骨子は、印刷産業がさらに社会との関わりを深め、社会的責任をより一層果たしていけるようにしていくことをめざし、団体としての活動をその目的に集中させるというものです。具体的には、印刷産業の価値創造力を高めること、そして社会の期待に応え誠実に行動していける産業になること、地球環境への高い配慮を前提とした事業活動、さらには、社会に対して印刷産業への理解を深めていただくための積極的な情報発信で、これらを通じて、これまで以上に信頼される産業をめざしていきます。

そして、グランドデザインの一環として、印刷産業に携わるすべてのものの役割をミッション・ステートメントとしてまとめたほか、世界の社会的責任に関するスタンダードともいえる国連グローバル・コンパクトに対して、日本の経済団体として初めて賛同表明をしています。



ミッション・ステートメント

われわれ印刷業に携わるものは、
印刷事業を通じて常に新しい価値創造に邁進し、
豊かな情報文化、生活文化を実現することで
持続可能な社会の発展に貢献する
そのために、われわれは常に「印刷」の可能性を見つめなおし、
新しい事業領域の拡大、奥行きを深耕
そして新しい技術開発に挑戦し続ける

印刷産業は、四半世紀にわたって厳しい経営環境が続いています。デジタル化の進展により、コミュニケーションのあり方やメディアの多様化が進み、従来のビジネスモデルを継承していくだけでは持続的成長・発展が難しくなっています。しかし、顧客のビジネスフローにおいて多様な活動をしてきた印刷産業は、その歴史のなかで顧客との厚い信頼関係を構築してきました。この信頼関係を基盤に、既存の印刷技術と、新たな情報通信技術やデジタル化への取り組みを組み合わせることなどで、印刷産業はさらなる成長をめざしていくことが可能であると考えています。

日印産連は会員 10 団体の独自性を尊重しながら、相互の連携を強化し、印刷産業への理解促進と情報・生活文化の確かな担い手としてさらに社会に貢献すべく、活力溢れる連合団体として、その役割を果たしていきます。

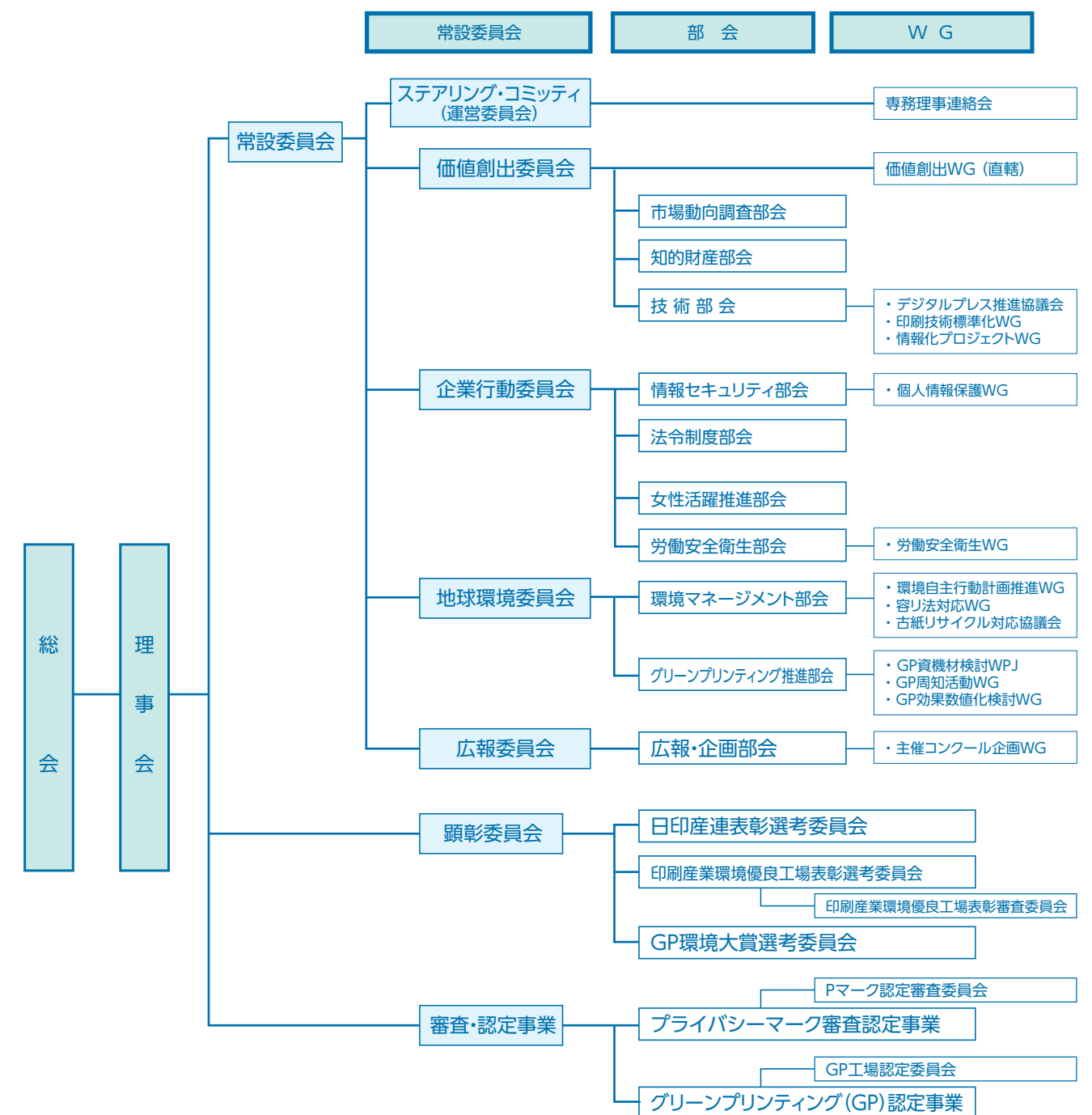
委員会 / 組織図

2015 年の定時総会でグランドデザインを制定し、取り組みテーマとそれに合わせた組織を見なおしました。まず、常設委員会としてステアリング・コミッティ、価値創出委員会、企業行動委員会、地球環境委員会、広報委員会を設けました。ステアリング・コミッティ（運営委員会）は日印産連のすべての活動を総括する役割で、個々の委員会は、グランドデザインがめざす①印刷産業の価値創出、②常に社会の期待に応える誠実な行動、③地球環境への高い配慮を前提とした事業活動、④印刷産業への理解促進という4つのテーマごとに組織されています。さらに委員会の中に部会を設けて具体的なテーマごとに活動しています。

顕彰委員会は、日印産連が実施する「日印産連表彰」、「印刷産業環境優良工場表彰」、「GP 環境大賞」、「GP マーク普及大賞」の受彰者を選出します。

最後の審査・認定事業については、印刷会社の事業内容に即した環境マネジメントシステムのグリーンプリンティング認定制度と、個人情報保護に関するマネジメントシステムであるプライバシーマークの審査・認定を実施しています。

一般社団法人 日本印刷産業連合会 委員会／組織図(平成28年度)



日本印刷産業連合会の活動

■価値創出委員会

- 価値創造に資する事業ニーズの調査研究
- 産官学連携や地域連携等、企画提案活動の推進
- 新市場に向けた固有技術の調査研究

情報化社会の多様なニーズに応えるために、印刷産業は情報や情報伝達の新たな価値創出に向けた検討や、事業領域の拡大をめざした調査研究や企画提案活動を推し進めていかなければなりません。価値創出委員会では、市場動向・技術動向・知的財産の調査・研究のみならず、印刷業界における情報基盤プラットフォームの構築による業界内外の情報交流や啓蒙活動を通して、印刷事業の活性化を追求していきます。



印刷産業の将来展望調査研究「SMATRIX 2020」



印刷用語の標準化と一般公開

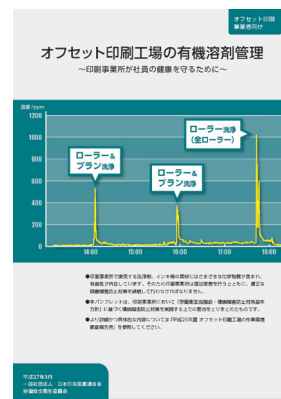
■企業行動委員会

- 個人情報保護、情報セキュリティへの対応
- 税制・下請法・規制改革等への対応
- 女性の活躍推進につながる各種施策研究・情報提供
- 労働安全衛生・リスクマネジメントへの対応

印刷産業は広く社会とのつながりのなかで事業活動を展開しています。そのため、顧客・消費者・従業員等のステークホルダーから信頼される産業であること、そして社会の変化に対応し、常に事業を変革し持続的に発展させることが強く求められます。企業行動委員会は、印刷産業が社会の要請・期待に対して的確に応え、行動できるように必要な情報収集・情報共有を行うとともに啓発・教育活動としての研修・セミナー等を実施しています。



「マイナンバー取扱ハンドブック」



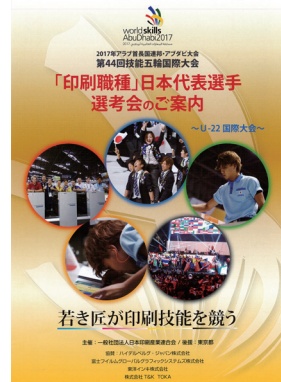
「オフセット印刷工場の有機溶剤管理」



個人情報保護研究セミナー（2016年11月）



地域連携とインバウンド事業の推進「じやばにうむ」



「技能五輪」日本代表選手選考会のご案内

■地球環境委員会

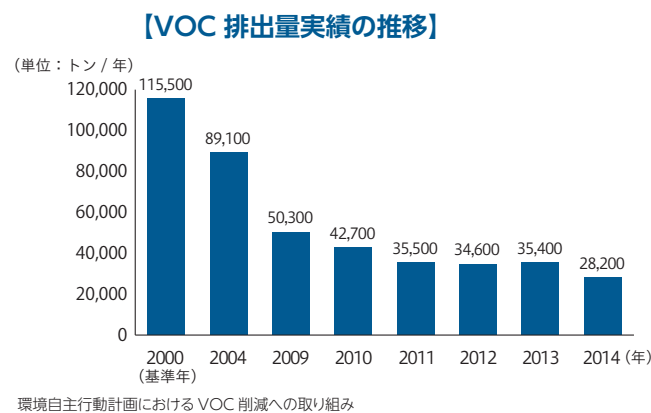
- 低炭素社会、循環型社会、VOC 排出抑制の自主行動計画
- 容器包装リサイクル法への対応
- 「印刷サービス」グリーン基準への対応
- グリーンプリンティング認定制度への対応
- 環境関連展示会への出展

大量生産、大量消費のもとで発展してきた現代社会は、天然資源の枯渇、環境破壊等さまざまな地球環境問題が発生しており、地球環境の保全と環境への負荷の少ない循環型社会の構築に向けて、国や地方公共団体をはじめ各企業も大きく動き出しています。

印刷産業界においても環境問題への対応は経営課題となっており、日本印刷産業連合会では、これら環境問題への対応に積極的に取り組むべく有識者、会員団体、会員企業はもとより、インキ・製紙・リサイクル業界等の関連業界と連携し、具体的な対応策を実施しています。



容器包装リサイクル法セミナーの開催（2014年5月）



■広報委員会

- 「9月印刷の月」記念式典・懇親会の開催
- 主催4コンクールの開催
- ・全国カレンダー展
- ・全国カタログ展
- ・ジャパン パッケージング コンペティション (JPC) 展
- ・造本装幀コンクール
- 広報関連活動

印刷産業の機能と社会のなかで果たしている役割などを広くご理解いただく活動を進めています。具体的には、機関誌 JFPI Report の発行、ホームページの運営、主催4コンクールの推進などを通じて、業界内、関連産業さらには一般社会とのコミュニケーションの充実を図っています。

このほか World Print & Communication Forum (WPCF) や Forum of Asia Pacific Graphic Arts (FAPGA) などの国際会議に参加し、海外の印刷連合会との交流を進めています。



東京国際ブックフェア「造本装幀コンクール」ブース（2016年9月）



カレンダー・カタログ展の会場（2016年1月 ゲートシティ大崎）



WPCF カンファレンス（2016年8月 ソウル）

審査・認定事業

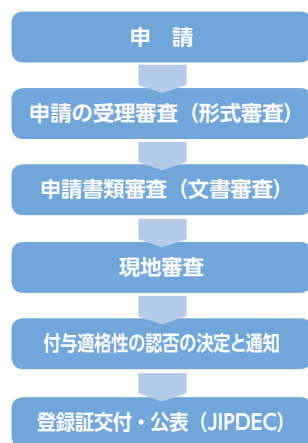
日本印刷産業連合会は、印刷産業の個人情報保護への取り組みの信頼性確保および社会的信用を得るための「プライバシーマーク審査認定事業」、ならびに環境保全に配慮した活動の一環として「グリーンプリンティング認定事業」を展開しています。



■プライバシーマーク審査認定事業

個人情報を取り巻く環境は、ビッグデータ活用やマイナンバー制度の導入など変化が目まぐるしく、印刷産業は事業活動のなかでさらなる個人情報保護に配慮した対応が求められています。個人情報保護に対する第三者認証制度としてのプライバシーマーク制度は、日本工業規格「JIS Q 15001 個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」に適合し、個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者を認証してその旨を示すプライバシーマークを付与し、事業活動に関してプライバシーマークの使用を認める制度です。取得事業者の約1割が製造業で、その大部分を印刷事業者が占めています。日本印刷産業連合会は、2007年8月に（一財）日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）からプライバシーマーク指定審査機関の指定を受け、プライバシーマーク審査センターが全国約500印刷事業者の付与適格性審査を実施しています。

●Pマークの申請から付与の流れ



日印産連が発行する個人情報関連書籍



プライバシーマーク
審査機関 (24)

■グリーンプリンティング(GP)認定事業

日本印刷産業連合会では環境保全に配慮した活動の中心として、「グリーンプリンティング（GP）認定事業」を推進しています。2006年に創設された本認定事業は、印刷業界の環境配慮自主基準（グリーン基準）に基づき、①基準を達成した印刷関連工場の認定、②認定された工場（GP認定工場）が製造した印刷製品へのGPマーク表示、③印刷関連工場が製造工程で使用する資機材を認定、の3つの制度を運用しています。

印刷関連工場の認定は、書類審査、現地審査を行った上、第三者で構成するGP認定委員会の審査によって客観的な認定を行っています。

GPマークは、GP認定工場が製造し、紙、インキ、加工材料がグリーン基準を満たした印刷製品に表示されるもので、官公庁の発行物、CSRレポートから一般のパンフレットなどさまざまな印刷製品に表示されています。

印刷等製造工程で使用する資機材の認定は、洗浄剤、エッチ液、プレート、セッター、デジタル印刷機等を対象としています。

このように、グリーンプリンティング（GP）認定事業は、印刷に関するすべてのものを対象として、地球環境保全推進のため積極的な環境配慮制度を展開しています。

また2015年よりGP認定制度を社会に広く周知し、GPマーク表示の環境配慮型印刷製品の普及を目的に、GP環境大賞を創設したほか、2016年にグリーンプリンティングPR大使として小山薫堂氏が就任し、さらなる普及をめざしています。



GPマーク

会員団体のご紹介（正会員）

2016年4月現在



■印刷工業会

大手および中堅印刷会社等で組織する団体で、加盟会社の出荷品は出版印刷・教科書印刷・商業印刷・証券・紙器・軟包材・建材・エレクトロニクス部品および情報関連等、多岐にわたっている。

会員：95社

所在地：〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館 3F

TEL：03 (3551) 7111 FAX：03 (3551) 7155



■日本フォーム印刷工業連合会

コンピュータの入出力に関連する諸帳票および応用製品を製造販売する印刷会社で組織している全国団体である。

会員：7工業組合（加盟会社数＝116社）

所在地：〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館内

TEL：03 (3551) 8615 FAX：03 (3555) 8466



■全日本製本工業組合連合会

製本業の全国団体として、印刷後加工の書籍・雑誌・事務用品類製本等を出荷する製本会社によって組織されている。

会員：11工業組合（加盟会社数＝810社）

所在地：〒173-0012 東京都板橋区大和町 28-11

TEL：03 (5248) 2371 FAX：03 (5248) 2455



■全日本シール印刷協同組合連合会

シール印刷業の全国団体として、表示・封緘・販促・接着等、各用途のシール・ラベル印刷物を出荷する印刷会社によって組織されている。

会員：10協同組合（加盟会社数＝565社）

所在地：〒110-0015 東京都台東区東上野 3-25-1 Kiビル

TEL：03 (5812) 5717 FAX：03 (5812) 5883



■全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会

スクリーン印刷の全国団体として、商業・生活・工業等、各分野のスクリーン印刷物を出荷する印刷会社によって組織されている。

会員：10協同組合（加盟会社数＝161社）

所在地：〒101-0031 東京都千代田区東神田 3-2-8 堀川ビル 3F 3A

TEL：03 (3863) 6901 FAX：03 (3863) 6902



全日本印刷工業組合連合会

■全日本印刷工業組合連合会

一般印刷業の中小印刷会社で組織する全国団体で、出荷品は出版・商業・事務用など多様な印刷物を手がけ、会員10団体のなかで最も加盟会社数が多い。

会員：47都道府県印刷工業組合（加盟会社数＝4,930社）

所在地：〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館 4F

TEL：03 (3552) 4571 FAX：03 (3552) 7727



■一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

文字・画像を主体とする印刷物を生産する印刷業・製版業の全国団体。グラフィックサービスの特性を生かした印刷物を手がけている。

会員：874社（41都道府県に支部あり）

所在地：〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16

ニッケイビル 7F

TEL：03 (3667) 2271 FAX：03 (3661) 9006



■日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会 (GCI)

グラフィックコミュニケーションズ（印刷物の前工程全般の制作もしくは印刷原版制作をする製版業、またはDTP技法を用いて、主に情報伝達を目的とした各種媒体・コンテンツの制作業）の中小企業者の全国団体。

会員：8工業組合（加盟会社数＝203社）

所在地：〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-10-11

写真製版会館 6F

TEL：03 (3265) 2714 FAX：03 (3265) 2718



The Gravure Cooperative Association of Japan

全国グラビア協同組合連合会

■全国グラビア協同組合連合会

グラビア印刷業の全国団体として、主として軟包装資材印刷加工物等を出荷するグラビアを主力とする印刷会社によって組織されている。

会員：8協同組合（加盟会社数＝162社）

所在地：〒130-0002 東京都墨田区業平 1-21-9 あさひ墨田ビル 2F

TEL：03 (3623) 4046 FAX：03 (3622) 1814

全日本光沢化工紙協同組合連合会

■全日本光沢化工紙協同組合連合会

光沢加工業の全国団体として、主に印刷後加工のコーティング・プレス・ラミネート等を出荷する光沢加工会社によって組織されている。

会員：3協同組合（加盟会社数＝89社）

所在地：〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-3-13 コア・ハナミ 201号

TEL：03 (3576) 5600 FAX：03 (3576) 5656